

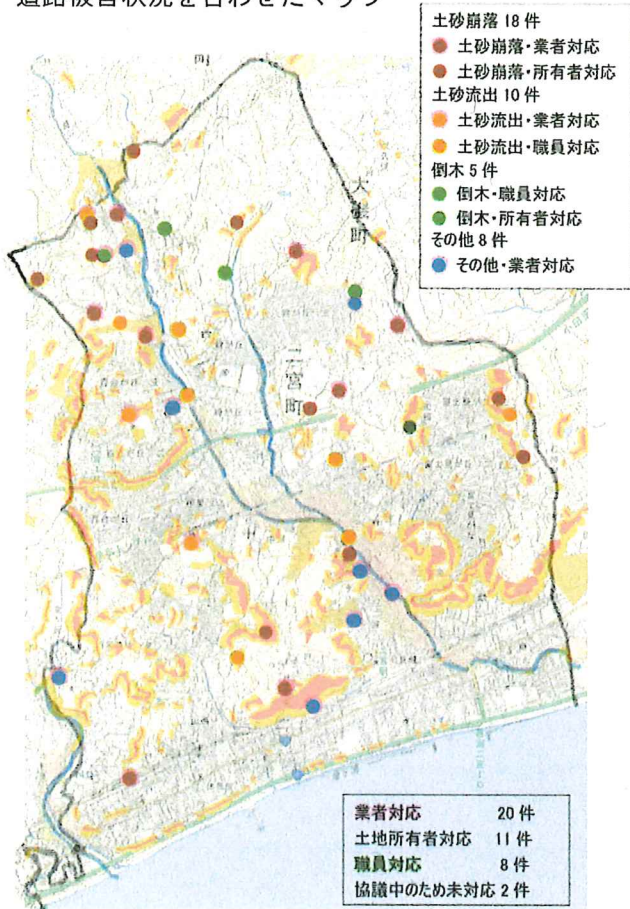
住家被害件数 (罹災証明書申請から)		道路等被害件数		避難所開設数		4か所	
床上浸水	41	土砂崩落	18	ごみの受入れ		件数	85
床下浸水	17	土砂流失	10			回数	171
その他	27	倒木	5			総重量	28.6 t
		その他	5	土のう配布数			
消毒			(床下浸水)無料消毒申請件数		34	700袋	
			(床上浸水)アルコール等配付件数		28		

罹災ごみの処理

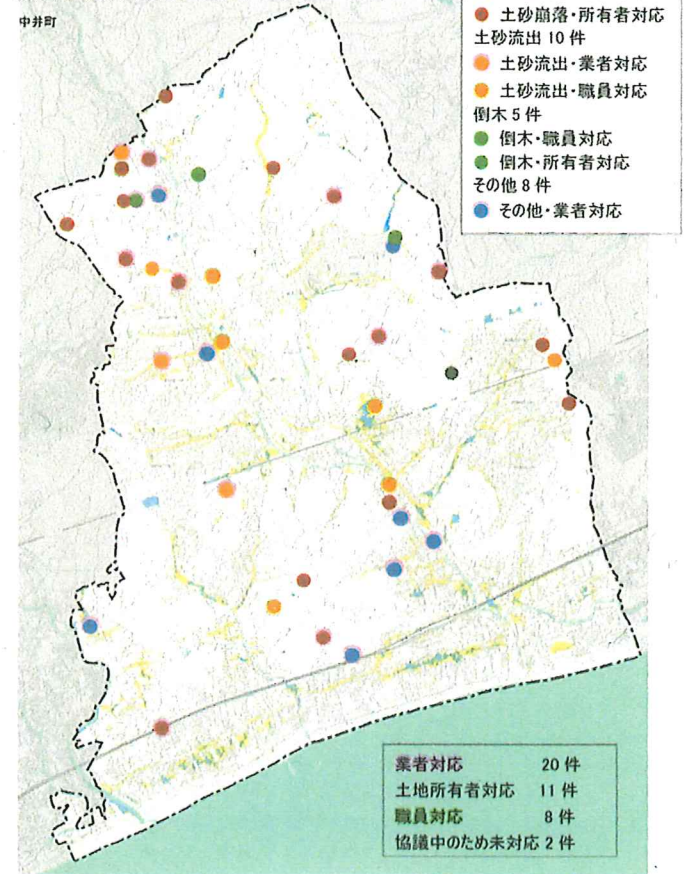
内訳	件数	回数	重量(kg)
家庭系	67	134	24,355
事業系	12	25	2,880
その他	2	5	710

※町のホームページに掲載された2025年11月21日現在の内容を抜粋して「しお風」で作成。

二宮町ハザードマップ土砂災害警戒区域図と洪水浸水想定区域図と道路被害状況を合わせたマップ



雨水出水浸水想定区域図と道路被害状況を合わせたマップ



凡例  
浸水した地点に示される水深  
0.1~0.1m 水深の区域  
0.1~0.5m 水深の区域  
0.5~1.0m 水深の区域  
1.0~3.0m 水深の区域  
3.0m以上の区域  
--- 市町村界

第4部会（令和6年11月8日開催）における協議結果

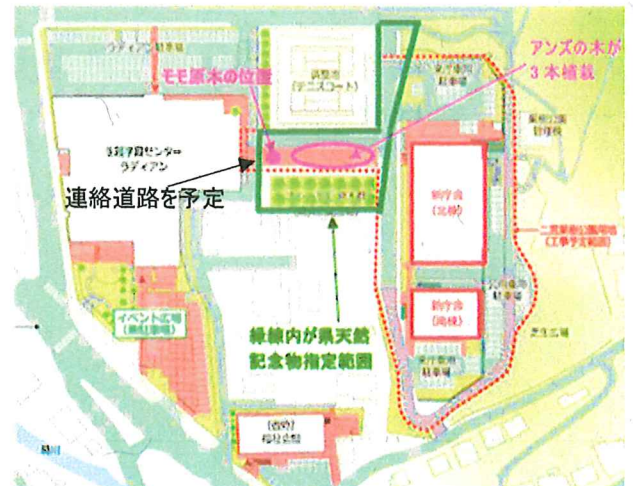
当該文化財のうち、唯一のモモ原木が滅失  
⇒ 指定名称及び指定範囲の変更について協議

(協議結果) 名称について ⇒ 変更は要しない  
指定範囲について ⇒ 変更は要しない

主な意見

- 文化財として名前を残すのはよい。
- モモ原木の筆を指定範囲から除いた場合の土地の用途は未確定だが、(建造物等が)近まるとナシに影響があるため、変えない方がよい。
- 変則に大きい建物が建ったら、目当たりが悪くなるのが心配である。
- 木の健康を考えると、コンクリートがあまり増えないとよい。

※神奈川県ホームページから転載



※ラディアン周辺行政機能等集約基本設計業務(概要版) 令和6年6月に記載された図に神奈川県文化財保護審議会資料等からの情報を「しお風」が記載し作成。